

家屋の耐震対策、家具の転倒防止対策を行う

家が建てられたのは、いつ？

平成12年(2000)年5月31日以前の耐震基準で建てられた建物は、耐震性が不足している可能性があります。大阪市では、一定の要件を満たす戸建住宅、マンションに対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助しています。

問合せ

大阪市住宅供給公社(大阪市住まい公社)
☎06-6882-7053

家具が転倒して困らないために

地震時に家具などが転倒すると、ケガや閉じ込めの危険があるばかりでなく、揺れが収まった後の在宅避難を困難にする原因にもなります。

次のような視点で家具の転倒防止、安全対策に取り組みましょう。



家具の転倒を防ぐ

L型金具などを利用して、壁にねじ止めで固定しましょう。壁や床に直接固定できない場合は、ポール式、ストッパー式、マット式などから2種類以上の器具で上下両方固定します。

また、食器などの飛び出し防止にストッパーも使用しましょう。



家具を置く位置を考えよう

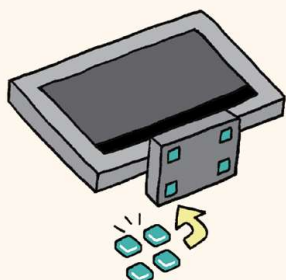
寝ているときに大きな家具が倒れるととても危険です。布団やベッドの位置は、家具の側や照明の下は避けましょう。

また、転倒により脱出経路を防がないよう家具を置く位置を考えましょう。



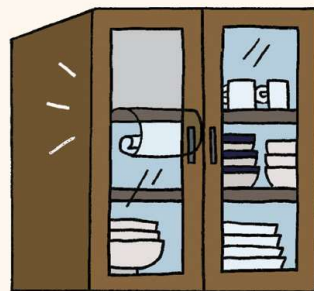
電化製品等の転倒を防ぐ

テレビや電子レンジなどの大型家電は強力なマジックテープや耐震ゲルマットなどの防災用品で固定し、倒れたり、滑ったりしないようにしておきましょう。



ガラスの飛散を防ぐ

窓ガラスや家具類のガラス面は、飛散防止フィルムを貼って、転倒時にガラスの破片が部屋内に飛び散るのを防ぎましょう。



家族や友人との連絡方法などを決めておく

災害時、一番心配なのが家族や友人の安否。日ごろから家族や友人と連絡を取る方法、安否確認の方法を確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル（171）

NTT西日本（一般電話：音声）「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言を録音・再生できます。



※毎月1日と15日、正月三が日（1月1～3日）、
防災週間（8月30日～9月5日）、防災とボランティア
週間（1月15～21日）に体験利用できます。

伝言の録音・再生方法

1 7 1 にダイヤル

録音は 1 再生は 2 をプッシュ

(×××)××××-××××
被災地の方の電話番号を入力

ガイダンスに従って録音・再生する

SMS（ショートメッセージサービス） SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

災害時に繋がりにくい音声通話ではなく、短い文章をデータとして送受信することができます。また、SNSのプロフィール欄や固定メッセージを使うことで、バッテリーを消耗することなく、現状を伝えることが可能です。

災害用伝言板

安否情報を登録すると、家族や友人が携帯電話やパソコンから確認できます。詳しくは、通信会社のホームページなどをご覧ください。

安否情報をまとめて検索「J-anpi」

「電話番号」又は「氏名」を入力することで、通信会社各社の災害用伝言版、報道機関、企業・団体が保有する安否情報を一括で検索し確認することができるサービスです。



公衆電話

公衆電話は災害時に電話が混みあい、発信規制や接続規制がかかる状況でも制限を受けずに発信や接続ができる「優先電話」と同じ扱いです。普段から自宅や通学・勤務先の周辺、通学・通勤経路付近にある公衆電話の場所を確認しておきましょう。



NTT西日本
「公衆電話設置場所検索」